

成績評価及び卒業認定の方針

1. 授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- ・単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- ・科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試験を受けることができる。ただし、補講は出席時数が授業時数の2分の1に達した者に実施する。
- ・前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は、再試験を受けることができる。
- ・成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- ・合格者の成績評価割合は、成績最上位の10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- ・合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。

2. GPA の設定・公表に係る取組の概要

- ・学期末に秀・優・良・可・不可の評価を行う。
- ・上記の評価に基づき GPA を算定する。

(算定方法)

①1 単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0 とする。

②秀 (4.0×取得単位数) + 優 (3.0×取得単位数) + 良 (2.0×取得単位数) + 可 (1.0×取得単位数)
= GPA 換算数

③GPA 換算数 ÷ 総履修単位数 (不可の履修単位数を含む)
= 個人の GPA (小数点 3 位以下を四捨五入)

(実施時期)

前期 (4 月から 9 月)、後期 (10 月から 3 月) の 2 回実施し、3 月末に年間 GPA を学務システム上で算定する。

3. 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

(1) 進級基準

2 年制学科：1 年から 2 年へ進級時 46 単位

3 年制学科：1 年から 2 年へ進級時 46 単位、2 年から 3 年へ進級時 累計 92 単位

(2) 卒業の認定方針

各学科とも、修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を取得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定する。

情報管理学科(3 年制)	I T 業界で求められるソフトウェアの開発技術に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上を図り、さらに高度な資格を取得させる。
情報管理学科(2 年制)	I T 業界で求められるソフトウェアの開発技術に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させる。

I T ビジネス学科	ソフトウェア開発の基礎技術やプログラミングに関する正しい知識と的確な技術を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させる。
会計学科	民間企業での経理職や税理士、会計士として仕事をする上で必要となる知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させる。
鉄道・観光学科	鉄道交通に関する専門知識や旅行ホテル業務に求められる知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させる。
経理・情報研究学科	経理・情報それぞれの専門知識と技能を身につける。職業や實際生活に必要な能力を養成し、教養をさらに向上させる。

(3) 卒業単位

1 年制学科：40 単位

2 年制学科：86 単位

3 年制学科：132 単位

なお、教育課程に定められた必修科目については全て取得することを要する。

(4) 卒業判定会議を卒業年次の2月末に実施する。